

任命拒否問題について英語で説明する氷見山幸夫・北海道教育大名譽教授(中)ら。2日午後、東京都千代田区で



学会会議任命拒否 海外に問う

日本学会会議の会員候補6人の任命を菅義偉首相が拒否した問題を巡り、哲学や文学など人文・社会科学系の学会など計310団体が2日、拒否理由の説明と6人の任命を求める英語版の共同声明を発表した。海外の研究者や市民に賛同を求める狙い。団体事務局によると、この問題で英語での声明は初めてという。

同日、日本外国特派員協会(東京都千代田区)で記者会見した佐藤泉・青山学院大教授は「突然、6人の学者が排除され、その理由が分からない。このまま進んだらどうなるか。科学に対する政治介入を放置し

てしまったら、表現の自由が脅かされるのも時間の問題だ」と指摘した。

会見では学会会議の役割を、研究者の専門領域を超えた交流を促し、海外の学術団体との連携を担っていると紹介。氷見山幸夫・北海道教育大名譽教授は「6人が欠けた現状では、十分な活動ができない恐れがある」と訴えた。

並行して哲学や文学など12分野の学会が、それぞれ英語版の声明を作成した。団体事務局の広田照幸・日本大教授は「海外から反響が集まれば、まとめて公表したい」としている。(梅野光春)

学会など310団体、英語声明